



いっしょに学びましょう！ 2019年度 POWER UP講座 始まる



5月11日。今年度のパワーアップ講座がスタートしました。第1回はいつも好評の算数講座。何森さんの。高学年算数講座でしたが、小学校6年間の内容を見据えて軽重をつけて指導していく大切さを指摘しました。

(写真上) 5月11日の算数講座
(写真左上) 鈴木健司さんの講座の様子
(写真左下) 講座の一コマ



学校現場が忙しい中でも、職場を越えて、みんなで学んでいきましょう！

第1回 算数(高)	5月11日(土) 9:30~12:00 講師:何森真人さん 『わかる算数たのしい授業part13』<高学年> 高学年にとって難しい単元の授業づくりを学びます。系統的な学習の進め方や教材・教具づくりなども広く学べる講座です。	場所:中央公民館 (岸和田市・小学校教諭 数教協)	第5回 作文	6月29日(土) 9:30~12:00 講師:土佐いく子さん 『子どもたちに表現の喜びと生きる希望を』 作文を書きたくない教室、作文を書いてほしくない生活、子どもたちが希望をもって豊かに生きること。作文を持ちより読み合いながら学びます。	場所:中央公民館 (元・大阪市小学校教諭 和歌山大学講師)
第2回 算数(低)	6月8日(土) 9:30~12:00 講師:何森真人さん 『わかる算数たのしい授業part13』<低学年> 低学年の算数は、シンプルだけに教え方がとてもむずかしいです。数と量、かたちなど、低学年のたのしい授業づくりを学びます。	場所:中央公民館 (岸和田市・小学校教諭 数教協)	第6回 絵本	7月6日(土) 9:30~12:00 講師:鈴木 健司さん (絵本サークル 代表) 『絵本をとおして子どもがみえる』 絵本がある教室…素敵ですね。絵本をとおして心がつながり笑顔が広がります。子どもも大人も楽しめる、絵本の魅力を最大限に感じられる講座です。	場所:豊中市立大池小学校
第3回 音楽	6月15日(土) 9:30~12:00 講師:沖塩 彩さん 『教室に歌声を~クラスですすめる合唱指導』 歌声のある教室はすてきですね。おすすめ曲や基本的な指導法、学級担任も楽しくできる合唱指導を学びます。	場所:中央公民館 (豊中市 小学校教諭)	第7回 支援	7月23日(火) 18:00~19:30 講師:上田 勲さん 『心の不調を訴えるこどもの理解と対応』 大人も子どもも増えている心の不調。「思春期うつ」やひきこもりなど、深刻なケースについて学びます。	場所:「すてっぷ」 (豊中市保健所 精神保健福祉士)
第4回 支援	6月22日(土) 9:30~12:00 講師:永目 裕さん 『見逃してはいけない子どもたち』 支援学級に在籍していない「困っている子どもたち」「見逃してはいけない子どもたち」の理解や支援の手立てを学びます。	場所:中央公民館 (言語聴覚士、元「豊中市 障害福祉センターひまわり」)	第8回 国語	9月14日(土) 9:30~12:00 講師:文芸研豊中サークル 『文学の授業の基礎・基本』文学の教材研究を通して 文学の授業で子ども達はの心は成長します。教材研究をとおして、文学のおもしろさや授業の展開を学びます。	場所:中央公民館(予定)

改訂学習指導要領を考える(2)

ICTの活用をどう考えるか!

ICT業界・教育産業

からの要請

改訂指導要領の内容として小学校での「プログラミング教育」の導入がクローズアップされています。中学校では「情報技術」分野などで、授業・学習場面のICTの活用がこれまで以上に推進されることが考えられます。

学校教育法が改正され(18年5月)デジタル教科書が正式な教科書として位置付けられ、紙の教科書の代わりに使用できるようになりました。(19年4月より)



by Aika (育休中)

ICTの活用は授業・学習面で有効な面もあります。社会の進展の中で学校教育にも当然、導入がすすんでいくものでもあ

るでしょう。しかし、一方で教育のICT化推進の背後にICT業界や教育産業等が大きな市場として学校を考

えている面もおさえる必要があります。文科省のみならず経済産業省は「Edtech」(Educa

tion+Technology)なる造語をつくって経済面から普及させようとしてい

ます。子どもの成長や発達にとつてという発想はそこにはないといわなければなりません。

「視力や脳の発達に影響はないのか」「実際に書く力や考える力が育たなくな

るのでは」こんな心配もあります。

**デジタル教科書使用で
関係学会が提言**

理数系8学会がすでに二〇一〇年「『デジタル教科書』推進に際してのチェックリストの提言と要望」を文科省に提出しています。

そこには、デジタル教科書を活用していく上で守るべき項目を9つあげています。

ICT活用で教職員が振り回されるのではなく、ICT活用で子どもたちを振り回すのではなく、教育にとって大事なものは、子どもたちの育ちにとって大事なものは何かを考えて使っていきたいものです。

※理数系8学会
情報処理学会/日本数学会
日本化学会/日本統計学会
日本化学会化学教育協議会
日本動物学会/
日本物理教育学会
日本地球惑星科学学会

- 事項1: 「デジタル教科書」の導入が、手を動かして実験や観察を行う時間の縮減につながらないこと。
- 事項2: 「デジタル教科書」において、虚構の映像を視聴させることのみで科学的事項の学習とすることが無いこと。
- 事項3: 「デジタル教科書」の使用が、児童・生徒が紙と筆記用具を使って考えながら作図や計算を進める活動の縮減につながらないこと。
- 事項4: 「デジタル教科書」の使用が、児童・生徒が自らの手と頭を働かせて授業内容を記録し整理する活動の縮減につながらないこと。
- 事項5: 「デジタル教科書」の使用が、穴埋め形式や選択肢形式の問題による演習の比率増大につながらないこと。
- 事項6: 「デジタル教科書」の使用が、児童・生徒どうしが直接的に考えや意見を交換しながら進める学習活動の縮減につながらないこと。
- 事項7: 「デジタル教科書」の使用により、授業の「プレゼンテーション化」や、児童・生徒に対するプレゼンテーション偏重・文章力軽視意識の植え付けが起きないようにすること。
- 事項8: 「デジタル教科書」の導入に際して、教員の教科指導能力が軽視されることがないように、また教員の教材研究がより充実するように配慮すること。
- 事項9: 「デジタル教科書」の導入に際しては、少なくとも当面の間は、現行の紙の教科書を併用し、評価や採択においては紙の教科書を基準とすること。

理数系8学会の「提言と要望」の詳細は表面QRコードから見るができます。